

授業概要

話を聞き、ともに考え、解決にむけての道のりを歩むことは、対人援助職に求められるスキルです。相談援助とは、対人援助職の基礎となる理論と実践の体系です。保育者や教員などの対人援助職にあたる人は、利用者、関係機関、地域住民といった様々な人々と出会い、かかわりを持ちます。関係者や関係機関と、どのように連携し、協働するののかということを、講義や体験学習を通じて指導します。事例を多く用いてわかりやすく説明し、理論や技術を現場で生かせる授業をめざします。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション 保育、教育と相談援助
第 2 回	相談援助とはなにか
第 3 回	相談援助の過程と連携
第 4 回	自己覚知
第 5 回	他者理解
第 6 回	基本的態度、コミュニケーションスキル
第 7 回	記録
第 8 回	相談援助を行う前に1（生活課題の把握）
第 9 回	相談援助を行う前に2（社会資源の把握）
第 10 回	インテークとアセスメント
第 11 回	援助計画
第 12 回	実施、評価
第 13 回	児童虐待の事例
第 14 回	DV の事例
第 15 回	障害受容の事例
第 16 回	筆記試験

到達目標

- ・ 相談援助の意義を理解し、専門知識を身につける。
- ・ 相談援助の技術を学び、理解を深める。
- ・ 相談援助の過程を理解する。

履修上の注意

- ・ この科目「相談援助」は、保育士資格取得に必要な科目です。
- ・ 講義だけでなく、グループディスカッション、ワーク、ロールプレイといった体験学習を行いますので、積極的に参加してください。

予習・復習

- ・ 復習 授業で学んだこと、気づいたこと、疑問点をまとめておきましょう。

評価方法

- ・ 筆記試験（60%）、授業内レポート（20%）、授業態度（20%）により、総合評価します。

テキスト

テキスト：なし

参考書：監修前田敏雄 編集佐藤伸隆・中西遍彦『演習・保育と相談援助』第2版 学ぶ・わかる・みえる
シリーズ保育と現代社会

授業の時にレジュメを配布します。